

歯磨きチェックへの挑戦

R2年度のQC活動で、「歯磨きチェックへの挑戦～入所者との共同作業～」に取り組みました。

私たち「森田班:メンバー高谷、草野」は、朝の「整容の時間(AM8:40～8:50の10分間)」を活用して、全入所者に「歯みがきチェック」を行い、口腔内の状態向上と口臭軽減を目標に全職員を巻き込んで取り組みました。

実施期間は10月、11月、12月の3ヶ月間。真和館4ユニット食堂の利点を活かし、整容の時間に職員を2名ずつ配置し、1ユニット当たり9名～15名の全入所者に対し、「歯磨きチェック」に取り組みました。最初は職員も手探り状態で恐る恐るでしたが、慣れてくると次第に「奥まで磨こう!」や「歯間ブラシが欲しいなあ～」等と熱が入って行きました。また、入所者は、最初、歯を見られることに抵抗があり、「恥ずかしいなあ～!」や「面倒くさいなあ～!」等の意見が多かったのですが、こちらも次第に、「歯磨きチェックで気持ちが良くなった」や「職員さんと話ができる良い機会になりました」等の意見も増え、更なる信頼関係(ラ・ポール)が築けるようになりました。

途中、幾多の問題が日々発生していく時期がありました。そのため、「気づきノート」なる全職員が自由な発想のもと意見交換ができるアイテム(ノート)を作りました。問題が個人的なことではなく、全職員の問題として捉えて行けるように構造化したのです。まさに、全職員で解決して行くためのシステムが構築できた瞬間でした。その結果、障がいの特性上、職員の支援が必要な方もおられますが、月1回の抜き打ち検査(直近:6月4日虫歯予防デー)で歯磨きチェックが実施できた入所者は90%を超えるという実績が出るようになりました。開始当初の目標(歯磨きチェックによる口腔内の状態向上と口臭軽減)に対し、どの職員が対応しても、標準化と管理の定着(歯止め)が機能している現状は、入所者の衛生面改善に於いて大きく寄与することのできたQC活動になったと思います。今後も現状に留まらず、日々改善に精進して行きたいと思っております。

新任職員紹介



5月に入職しました 紐 美香(つるぎ みか)と申します。以前はデイケアで働いておりました。専門知識も無く、分からない事ばかりです。一緒に勉強して行けたらと思っています。よろしくお願いいたします。

お誕生者の案内

7月	1日 緒方さん	10月	4日 藤岡さん
	10日 和田さん		4日 飯干さん
	16日 前川さん		9日 松本さん
	18日 岡崎さん		10日 小川さん
	19日 東條さん		27日 工藤さん
8月	23日 外井さん	11月	1日 雨森さん
	31日 林さん		5日 村上さん
	16日 田中さん		25日 葉井さん
9月	27日 増本さん	12月	27日 田山さん
	30日 森川さん		8日 西山さん
	24日 村上さん		9日 尾崎さん
25日 佐藤さん	14日 橋本さん		
			29日 三澤さん
			30日 畑野さん

編集後記

今年は思いにも寄らない早梅雨でした。新型コロナウイルスの拡大もワクチン接種が進んでるのもあって、落ち着きを見せ始めてきました。まだまだ油断はできませんが、1日も早く終息することを願います。
今年度から、広報誌「風の彩り」の編集をさせていただくことになりました。今後ともよろしくお願いいたします。

<編集責任: 二上>

発行: 社会福祉法人 致知会
救護施設 真和館
 〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
 TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122
 E-mail:shinwakan@utopia.ocn.ne.jp
 HP:http://www2.ocn.ne.jp/~titikai/index.html

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。

真和館だより 第27号

風の彩り

コロナ下の3つの成果



施設長 藤本和彦

令和2年度は、新型コロナウイルス対策に追われた1年間でした。入所者のみなさんは、年度初めは、病院受診もままならない状態であり、その後も、病院受診以外は、外出禁止が続いています。

しかし、真和館は救護施設のため入所希望者は、今日の食事、明日の住む場所にも困窮している方々であります。そのために、コロナの心配をしながらも、制約を設けずに、基本(緊急一時救護事業、旧:無料低額宿泊事業を含め)、通常通りの受け入れをして参りました。

ところで、「窮すれば通じる」という言葉がありますように、コロナ禍という制約があったからこそ、できたこともありました。

その第一は、コロナ下のため会議や研修会等に取られていた時間が少なくなり、考える時間が増えたので、「アルコール依存症回復支援羅針盤」というシステム(仕組み)が令和2年度末に完成しました。

このシステムは、①「真和館アルコール依存症回復支援羅針盤(基本体系)」というツールで、アルコール依存症当事者の心身の状況や問題点を明確にし、②「真和館アルコール依存症回復支援羅針盤(評価尺度)」というツールで、アルコール依存症からの回復状況を入所者と支援者が評価・共有し、③「真和館アルコール依存症回復プログラム(ARP)」という教育・訓練カリキュラムで、あるべき姿に向けて、学習に取り組んで行く仕組みです。

元々、真和館には、15年という長年に亘るアルコール依存症に対する真摯な取り組みの中で生み出された教育・訓練のカリキュラムである③「真和館アルコール依存症回復プログラム(ARP)」があります。

そこに、基本体系と評価尺度という2つのツールが加わり、総合的・体系的・効率的なアルコール依存症の回復システムとなりました。

二つ目は、コロナ禍のために、自助グループ等のミーティングや学習会が中止になりましたが、しばらくすると、オンラインによる海外(日系のアメリカ人等)の自助グループのミーティング(同時通訳付き)、が始まりましたので、真和館も早速、参加させて頂きました。その内に、次第に国内のあちこちでもオンラインによるミーティングが開催されだし、今では、広く外部のみなさんとの交流のツールとして活用しています。

三つ目は、新型コロナウイルスのクラスター対策として国県の補助(国2/4、県1/4)を受けて、これまで1人部屋と2人部屋が混在していた居室を実質的に、全室個室化(2人部屋17室を個室化、1室だけは2人部屋で残す)することができました。

「足下を掘れ、そこに泉あり」、という言葉があります。コロナも簡単に終息しそうにありませんので、引き続き、職員一同、コツコツと地道に内部固めに取り組んで、次の飛躍に備えて参ります。

真和館個室化工事

国の「新型コロナウイルス感染症に関する緊急一時対応—第2弾—」で、保護施設等の多床室の個室化に要する改修費について、補助金が創設されました。

元々、真和館は入所者の処遇改善のために全室個室化を希望していましたので、早速、手を挙げたところ採択いただき、無事に工事が完了いたしました。

- ①工事期間 令和2年11月9日～令和3年1月29日
- ②工事金額 20,212,500円(国2/4補助、県1/4補助)
- ③工事内容 2人部屋18室のうち17室を1人部屋に改造

これにより、部屋数は、1人部屋62室、2人部屋1室となりました。寒い季節での工事であったため、入所者の皆様にご迷惑をおかけしましたが、部屋が個室になるということもあり、入所者の皆様に喜んで協力いただき、無事に工事を終えることができました。

入所者統計

1) 障がい区分状況 令和3年4月1日 現在

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい			生活障がい	合計	(内アルコール依存症)
				身体障がいと精神障がい	知的障がいと精神障がい	身体・知的・精神障がい			
男	3	9	34(13)	2	6	0	4	41	(25)
女	0	2	13(7)	0	1	0	0	14	(5)
計	3	11	47(20)	2	7	0	4	55	(30)

※身体(3級以上)・知的・精神障がい(3級以上)の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。

※精神障がいの()内は統合失調症者の数である。

※生活障がい者とは手帳は所持していないが、地域で生活できない人(業界用語)。

2) 年齢別入所者状況

	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計
男	0	3	5	6	7	7	11	2	41
女	0	0	1	3	2	1	4	3	14
計	0	3	6	9	9	8	15	5	55

平均年齢 男) 62歳 3ヶ月 女) 66歳 7ヶ月 全体) 63歳 4ヶ月

令和2年度 決算報告

(社会福祉法人 致知会)

貸借対照表
令和3年3月31日現在

法人合計		資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	80,537,160	流動負債	23,740,576		
固定資産	933,086,171	固定負債	144,612,356		
土地	7,881,175	負債の部合計	168,352,932		
建物	796,436,551	純資産の部			
構築物	14,235,000	基本金	71,446,947		
車両運搬具	126,378	国庫補助等特別積立金	448,800,731		
器具及び備品	7,074,599	積立金	90,400,000		
ソフトウェア	1,027,332	次期繰越活動増減差額	234,622,721		
退職給付引当資産	15,862,356	(うち当期活動増減差額)	30,545,808		
その他	90,442,780	純資産の部合計	845,270,399		
資産の部合計	1,013,623,331	負債及び純資産の部合計	1,013,623,331		

※救護施設 真和館・養護老人ホーム あそ上寿園の2つの施設と法人本部の合計金額となります。

事業活動収支計算書
(自)令和2年4月1日～(至)令和3年3月31日

法人合計		勘定科目		決算	
科目	金額	科目	金額	科目	金額
サービス活動収益計	334,403,641	サービス活動収益計	334,403,641		
サービス活動費用計	307,789,874	サービス活動費用計	307,789,874		
サービス活動増減差額	26,613,767	サービス活動増減差額	26,613,767		
サービス活動外収益計	11,064,959	サービス活動外収益計	11,064,959		
サービス活動外費用計	4,193,775	サービス活動外費用計	4,193,775		
サービス活動外増減差額	6,871,184	サービス活動外増減差額	6,871,184		
経常増減差額	33,484,951	経常増減差額	33,484,951		
特別収益計	14,812,000	特別収益計	14,812,000		
特別費用計	17,751,143	特別費用計	17,751,143		
特別増減差額	-2,939,143	特別増減差額	-2,939,143		
当期活動増減差額	30,545,808	当期活動増減差額	30,545,808		
前期繰越活動増減差額	226,576,913	前期繰越活動増減差額	226,576,913		
当期末繰越活動増減差額	257,122,721	当期末繰越活動増減差額	257,122,721		
その他の積立金取崩額	0	その他の積立金取崩額	0		
その他の積立金積立額	22,500,000	その他の積立金積立額	22,500,000		
次期繰越活動増減差額	234,622,721	次期繰越活動増減差額	234,622,721		

新型コロナウイルス対策

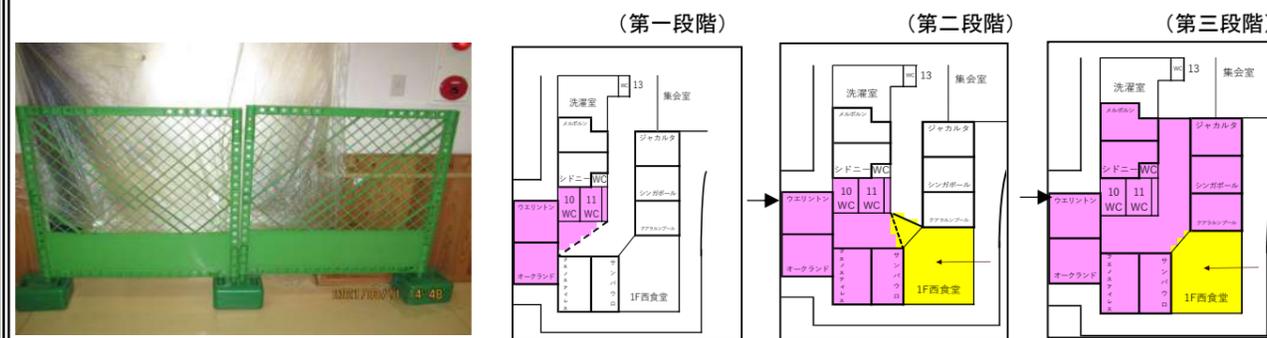
令和2年2月末に熊本県で新型コロナウイルスが確認されてから、約1年半となりました。とりあえず今のところは、発生当初から直ぐに徹底した水際対策が功を奏したのか、幸運なことに真和館では感染者は発生していません。これも入所者のみなさん及び職員や関係者のご協力によるものと感謝しております。

しかしながら、最近は職員の子供さんが通学する学校や近所の方などに感染者が発生したという情報が頻繁に入るようになってきており、昔に比べて新型コロナウイルスの感染リスクが身近に感じられるようになってきました。

これに対し、真和館では当初から実施してきた水際対策(不要不急の外出禁止、手洗いの励行、外来者の原則入館禁止等)を引き続き行うとともに、クラスター対策(入所者/職員の検温・SPO₂測定・体調管理の徹底、パーティションの設置、2人部屋の個室化工事など)を実施しました。また万が一に備え、国・県の補助金を使用させていただき、1ヶ月程度の感染予防の衛生用品(高性能マスク、防護服など)を準備いたしました。

新入所者や生活困窮者の無料/低額宿泊の受け入れについては、施設1階西側の一室を専用部屋とし、約1週間程度その部屋で過ごしていただき、感染の有無を見極めております。また感染が発生した場合に備え、発生状況に応じたゾーニング計画(施設1階西側を使用)とゾーニングをするための工事現場で使用されるパーティション等(写真)を準備しています。

＜ゾーニング計画＞



調理場HACCP対応

こんにちは、調理場からです。今回は、令和3年6月1日よりHACCPに沿った衛生管理の完全義務化へ向けた調理場での取り組みについて紹介したいと思います。

1. 衛生管理計画書を①調理従事者②原材料の受け入れ③冷凍庫・冷蔵庫の温度管理④下処理・調理⑤調理器具・調理施設⑥廃棄物⑦トイレの洗浄・消毒の7項目に分け作成。
 2. 調理場内のチェック表である①衛生管理チェック表②調理作業チェック表③清掃・消毒チェック表④納品チェック表の見直し。
 3. 調理場の構造上、下処理室がなかったため、下処理区域の目印を設置。
 4. 汚染エリアへのアルコールスプレーの設置。
 5. 調理場内の手洗い場を手動から自動水栓へ変更。
 6. 野菜の泥などを洗う外洗い場を蛇口からシンクへ変更。
 7. 洗浄室が衛生エリア内にある為、残渣を持ち込まないよう、調理場外へ残渣返却場所を設置。
 8. 調理従事者の制服が上の白衣のみであった為、新たに調理従事者専用のズボンを購入。
 9. 調理場専用靴箱を一人1足から2足へ変更し、用途別に使用できるように変更。
 10. 天井掃除用に伸縮性モップを購入及び、古い掃除器具の入れ替えを行う。
- 以上、10点を現在実施しております。

今後の予定としまして、下処理専用シンクの増設、衛生管理計画書に沿った調理場内での実施状況の確認等を行っていく予定です。これからも、安全でおいしい給食提供に努めてまいります。



アルコール依存症の
ピア職員・Nの

私の体験談 ~前編~

令和元年8月に真和館に入職して、もうすぐ2年になります。私は平成22年、熊本県内のあるアルコール依存症専門病院でアルコール依存症と診断され、入院治療を受けました。簡単であります、私のお酒にまつわる体験談と入職後の気付いたことを前編・後編の2回に渡って書き記します。

私が本格的にお酒を飲み始めたのが、中学3年の夏でした。学校ではいじめに遭い、家では他人の家に居候しているようで、どこにも居場所がありませんでした。この頃の私は「人生は太く短く」「早く死にたい」と思っていたので、酒を飲むことは、高揚感が起こり、嫌なことが忘れられ、万能感が得られるという魔法の水を手に入れたという感覚でした。高校卒業まで、家では隠れ酒や嘘をついて飲んだり、コンビニでアルバイトしている時には盗み酒もしていました。上京してからも、大学には行かず、スナック通いの毎日で酔っ払っているから、中型バイクの免許も取りに行けないという状態で、学費をほぼ酒に使い込んでしまい除籍となりました。

社会人として働き始めてからも、飲み屋通いは止まらず、金銭感覚も麻痺し始めました。行きつけの飲み屋にはツケをし、会社の金だけでなく、サラ金にも手を出し、あっという間に多重債務者となりました。

熊本に引っ越してきて、結婚前に、借金を自己破産して整理しました。その後勤めた会社は、全国チェーンの店で、店を任せてもらえる立場になりましたが、酒類の仕入れを意のままにし、家に持ち帰ったり、手持ちの酒代がなければ、レジ金を着服していました。着服が発覚し、降格・異動となりましたが、異動先の店長とウマが合わず、うつ病を発症し、数ヶ月後、大量飲酒した勢いで自殺未遂(大量服薬)をしました。救命搬送されて72時間点滴を打ち、一命は取り留めたものの、飲酒は止められず、自殺衝動も止まらない状態で、家庭内は険悪になっていきました。



ある日の夜、処方薬を多量に飲み、浴室内で自殺未遂を図った時に、初めて「生きたい」と思いました。浴室からフラフラと歩きながらパソコンの前に座り、インターネットでうつ病について調べたら、アルコール依存症という言葉にたどり着きました。そこでスクリーニングテストを行ったら、重度のアルコール依存症と表示されました。しかし、妻に言うと、酒を止めるよう小言を言われるのが嫌で...否、それ以前に、「酒がない人生なんてありえない」「飲めない人生なら、死んだ方がマシだ」と思っていたので、酒を手放すことはとても怖いことでした。そもそも、祖父2人はアルコールが原因で亡くなっているので、アルコール依存は罹ったら死ぬしかなくて、決して助からないと思っていました。どうせ死ぬなら飲み続けようと思っていました。

さらに数ヶ月後、飲酒と自殺未遂が止まらず、県内のある専門病院に入院し、治療を受けました。入院中に患者として参加した当事者グループのイベントでスピーチする方たちが、自分と似たような生き方をしてきていたこと、そして、自分の経験を笑顔で話している姿に衝撃を受け、「自分もあんな風になりたい(回復したい)」と思うようになりました。

退院して、その自助グループに通うようになりました。離婚して1人になり、1年半ほど引きこもり状態でしたが、ミーティングだけは欠かさず参加しました。「アルコール問題から立ち直ろうとしているのは、自分だけじゃないんだ」と気づき、県内外の仲間や、周りの人たちの支えがあるおかげで、飲まない1日を続けています。

(後編へ続く)

令和3年度 年間支援計画

	指導班	生活支援班	医務班	調理班
4月	・対話集会 ・創立記念式典 ・心みがきの講演会 ・AA健軍グループ 青空ミーティング (アスペクタ)	・誕生者食事会 ・春の旅行(食事会)	・健康指導	・創立記念弁当 ・栄養指導
5月	・対話集会 ・ピアカウンセリング (統合失調症)	・誕生者食事会 ・ゴールデンウィーク 特別映画鑑賞会 (連休中) ・西原村区役 ・春のスポーツ大会 ・バーベQ大会	・感染症予防勉強会 (食中毒)	・端午の節句献立
6月	・対話集会 ・熊本県断酒友の会 一般公開セミナー ・AA九州沖縄地域 ラウンドアップ	・誕生者食事会 ・カラオケ大会 ・地域防災訓練 ・還暦祝い	・口腔ケア勉強会	
7月	・対話集会	・誕生者食事会 ・会長杯卓球バレー 大会(八代市)	・熱中症予防勉強会	・土用丑の日献立 ・七夕メニュー
8月	・対話集会 ・心みがきの講演会	・誕生者食事会 ・夏の旅行(食事会) ・お盆特別映画鑑賞会 ・青年会館杯卓球 バレー交流大会 (熊本市)		・お盆献立
9月	・対話集会 ・熊本地区オープン スピーカーズ ミーティング	・誕生者食事会 ・夏の旅行(キャンプ) ・西原村区役	・健康診断(第1回)	・お彼岸献立 ・敬老の日献立 ・お弁当(外部仕入れ)
10月	・対話集会 ・ピアカウンセリング (統合失調症)	・誕生者食事会 ・秋のスポーツ大会 ・バーベQ大会	・健康指導	・ハロウィンメニュー ・非常食メニュー ・栄養指導
11月	・対話集会 ・アディクション フォーラム	・誕生者食事会 ・秋の旅行(一泊旅行) ・秋の旅行(食事会) ・秋の旅行(紅葉見学) ・星野富弘美術館見学 ・西原村老人健康 づくりスポーツ大会 ・火の国杯卓球バレー 大会(熊本市)	・心の健康勉強会 ・インフルエンザ 予防接種 ・感染症予防勉強会 (インフルエンザ)	
12月	・対話集会 ・心みがきの講演会 ・年納め式 ・熊本アルコール関連 問題学会 ・球磨・人吉地区合同 断酒会	・誕生者食事会 ・なかよし祭り ・カラオケ大会 ・大掃除 ・餅つき ・年末・年始特別映画 鑑賞会	・感染症予防勉強会 (ノロウイルス)	・冬至献立 ・クリスマスメニュー ・年越しそば
1月	・対話集会 ・年始め式	・誕生者食事会 ・初詣		・おせち料理 ・七草粥 ・鏡開き献立
2月	・対話集会 ・ピアカウンセリング (統合失調症)	・誕生者食事会 ・植木市見学		・節分献立 ・バレンタイン メニュー ・お弁当(外部仕入れ)
3月	・対話集会 ・心みがきの講演会 ・益城病院アメリスト 例会(年3回~4回) ・九州アルコール関連 問題学会	・誕生者食事会 ・お花見会	・健康診断(第2回)	・桃の節句献立 ・お彼岸献立 ・お花見お弁当

日本全国 そして 世界の仲間 とつなぐ オンラインミーティング PART2

令和2年、新型コロナウイルスが世界中に拡大しパンデミックとなる中、アルコール依存症からの回復の場を確保するために、日本はもとより世界中の自助グループがインターネットを活用したオンラインミーティングを開催するようになりました。

真和館でも、新型コロナウイルス感染防止のため、人が集まる場所への外出を控え、昨年5月末からオンラインミーティングに積極的に参加するようになりました。

そのような経験を重ね、現在は、真和館でもインターネット会議ツールzoomを導入し、「真和館メッセージミーティング」を主催し地域の自助グループであるAAなごみグループ様やAA城北グループ様、GA熊本熊本グループ様のご指導のもと、「経験を聞く、話す」ことで学びを深めています。

一日も早くコロナ禍が終息し、入所者の皆さんが再び自助グループの会場へ通えることを心待ちにしています。

令和3年12月4日(土)には、養護老人ホーム『あそ上寿園主催の地域セミナー ～アルコール依存症を理解する・支える～』を(zoomを使用)オンラインで開催する予定にしています。

アルコール依存症ご本人はもとより、ご家族、支援者、関心のある方ならどなたでも参加できます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは、あそ上寿園又は真和館までお願い致します。

※AA(アルコールリクス・アノニマス)・・・アルコール依存症の自助グループ
 ※GA(ギャンブラーズ・アノニマス)・・・ギャンブル依存症の自助グループ
 ※Part1は広報誌25号をご覧ください

インターナショナル日本語 女性 12ステップスタディ

コロナ禍により、zoomを使ったオンラインミーティングが、アメリカ在住の日本人女性(カリフォルニア・ミシガン・ニューヨーク)AAメンバーが中心となり英語と日本語の同時通訳付きで月に一度開催されるようになりました。

真和館が最初(5月24日)に参加したオンラインによるミーティングです。

現在は、「インターナショナル日本語ステップ トラディショナルスタディ」という名称で、男女混合のミーティングに進化しています。

さらに、「インターナショナル日本語女性 12ステップスタディ」は、「ミラクル・アクロス・ザ・シーズ 日本語女性ミーティング ステップとスタディ」と名称を変え、毎週金曜日(9:30~11:00)開催されています。

当初は日本在住の女性が大多数でしたが、現在は、日本人以外の女性も大勢参加されています。

インターナショナル日本語 ステップ・トラディショナルスタディ

このミーティングは、「インターナショナル日本語女性 12ステップスタディ」の4ヶ月後に開催されるようになりました。

現在では、日本やアメリカはもとより、ヨーロッパやオーストラリアなど、世界中からアルコール依存症のAAメンバー約200名程が集われます。

zoomの同時通訳機能を使い、外国語を話すメンバーの体験談を日本語で聞くことができます。

(月に一度、日にちは不定期
9:30~11:00 開催されています)



森口病院 オンラインミーティング

院内感染防止のために依存症治療の専門病院で開催されていた院内ミーティングは全国的に中止されました。その代替りとしてオンラインミーティングを取り入れる病院が増えています。

鹿児島県の森口病院は九州でもいち早く院内でzoomによるオンラインミーティングを開始されました。

令和2年12月20日より、真和館入所者も快く、参加させていただいています。

(毎月第4日曜日のみ参加 13:30~15:00)

菊陽病院 オンラインミーティング

菊陽病院は令和3年3月3日より、zoomによるオンラインミーティングを開始されました。

真和館では、菊陽病院に通院している入所者が参加しています。

(毎月第1・3水曜日参加 14:00~15:30)

既読

4月25日(日)の、あるオンラインミーティングに参加しました。
<テーマ>は、生きる喜び

自分で生活をしたいです。
そして、負い目を感じないでも良いような生き方をしたいです。
昔の自分は、コソコソと隠れるような生き方をして来ました。

既読

入所当初よりも表情が明るくなれば、依存症の学習も深まっておられます。
学習会やミーティングでは、人生を振り返り、さらに、ご自分の問題に取り組まれています。
再来年の社会復帰を目指し準備を進めているところです。

真和館 メッセージミーティング (アルコール)

通常は、自助グループのAA城北グループメンバーの皆様に来館頂き、ミーティングを開催して頂いておりましたが、感染防止の観点から令和3年2月2日から、真和館主催のzoomによるオンラインミーティングを開始、AAなごみグループやAA城北グループの皆様にご指導を頂くことになりました。

(毎月第1・3火曜日開催 10:15~11:30)

真和館 メッセージミーティング (ギャンブル)

重複した依存症(クロスアディクション)対策として自助グループのGA熊本グループ様に来館頂いておりましたが、感染防止の観点から令和3年3月9日より真和館主催のzoomによるオンラインミーティングを開始、ご指導を頂くことになりました。

(毎月第2・4火曜日開催 10:15~11:30)

既読

4月13日(火)真和館で開催されている、オンライン・メッセージ・ミーティング(ギャンブル)
<テーマ>ギャンブル依存症
20の質問から

高校生の時から、親や友人など借金をしている人が多かったので(お金に困って貸してくれと言われる時も多かった)、借金をするのが当たり前といった価値観の環境があった。
嫁も嫁の両親も全くギャンブルをしない家庭でした。結婚した時に自分の価値観はおかしいと思った。
同年代の人達は家を建てたり新車を買ったり旅行をしたり…。私はといえば、ギャンブルでお金を使い果たし、ギャンブルをするためにパソコンや洋服を売ってお金を作って、自分は何年も前の服を着ているような生活でした。